

# 守徳寺かわら版（特別編）

第26号お盆号 令和4年7月1日  
編集 曹洞宗 守徳寺

合掌 檀信徒の皆様には、日頃より守徳寺の護持・発展に温かいご協力をたまわり、誠に有難うございます。今回のかわら版は、**本堂改修事業**に関する情報を中心に、特別編として発刊致しました。

## 御礼

檀信徒の皆様には、この度の本堂改修事業に関して、ご理解とご支援を頂いておりますこと、心から深く感謝、御礼申し上げます。昨年、檀信徒総代会において承認を受けて発足した建設委員会を中心に、各地区総代の皆様、各地区長及びサポート委員の方々のご協力のもと、着々と準備を進めて参りました。今年3月から、本堂改修事業寄附金のお願いをさせて頂きましたところ、今般のご時世にもかかわらず多くの皆様方から、奉加書申し込みとご浄財をご納入頂きました。誠に有難うございました。お蔭様で目標金額を上回る寄附金が集まり、計画通り工事着工できることとなりました。皆様方から納入頂いた寄附金は本事業に有効に使用させて頂く所存でございます。どうか、引き続きご協力・ご支援頂きますようお願い申し上げます。

## 奉加書申し込み件数

総数	478件
(内訳)・檀信徒各位	452件
・檀信徒以外	16件 (企業・一般)
・近藤家家族・親族	10件



## 現在の寄附金額

総額	44,517,204円
常陽銀行	24,341,000円
ゆうちょ銀行	20,176,204円

<R4.6.30 現在>

※集金・寺持参金はすべて常陽銀行に入金済です。

※寄附金のお申し込みは、来年（令和5年）3月31日まで継続しておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

## 今後の予定

令和4年	8月下旬	起工式（工事安全祈願）
	9月上旬	工事着工開始
令和5年	3月下旬	完成予定
	5月下旬	落慶式

※工事期間中、お寺にお参りに来られる方には、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承下さい。なお、本堂内での法要は通常どおり執り行えます。



建設委員会の会議の様子

## 施工業者・金剛組について

株式会社金剛組は、578年（飛鳥時代）に創業され、現存する世界最古の企業とされています。仏教が日本に伝来したころ、寺社建築の技術を伝えるため、百済（くだら）の国から呼び寄せられた宮大工がいました。その中の一人が「金剛重光」。彼は聖徳太子により日本最初の官寺「四天王寺（してんのうじ）」建立を命じられ、その任務を見事成し遂げました。これが金剛組の原点です。以来、千四百年以上の永きにわたり、全国の寺社仏閣の建立・復元・改修に携わっています。現在、関東・関西に約100名の「匠会（たくみかい）」と呼ばれる宮大工集団を抱え、技術を磨き伝統を継承しています。

## 寄進瓦（きしんがわら）のお知らせ

本堂の屋根瓦を新調するにあたり、新しい瓦の裏側に、ご寄附を頂いた方のお名前を住職が心をこめて揮毫（きごう：筆で書くこと）致します。それを本堂の屋根に葺くことで、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

## しんぼんだいせじきえ 新盆大施食会法要のご案内

当山守徳寺では、毎年8月16日午前10時より今年一年間（昨年お盆以降）に亡くなられた新亡精霊の供養法要を執り行っています。昨年、一昨年とコロナ禍での法要の為、本堂に上がってお参り頂く人数を1軒につき2名様までと限定させて頂きました。本年は感染症対策に十分配慮しながらも人数を若干増す予定です。

新盆供養の後、檀信徒各位の先祖代々塔婆盆供養を行います。法要終了後（12時30分以降）本堂前に塔婆を立て掛けておきます。施主名をご確認の上、塔婆をお持ちになり送り盆をして下さい。なお、共同墓地の方は各地区の総代さんが、法要終了後、墓地に運んでくれますので宜しくお願いします。